

	秋田国内イマージョン研修
1 報告者	遠藤 摩樹主幹教諭
2 日時	平成 28 年 11 月 11 日 (金) 9 : 15 ~ 15 : 30
3 場所	国際教養大学 (秋田県秋田市)
4 参加者	2 年生 GLP(グローバルリーダープロジェクト)から選抜 10 名
5 講師	国際教養大学 助教授 1 名、外国人ファシリテーター 8 名
6 目的	<p>○多様な文化、価値観への理解を深め、世界的視野を養うこと目的として、国際教養大学で国内イマージョン研修を行う。</p> <p>○授業参加、外国人ファシリテーターとのディスカッション等を通して、生徒が自らの課題探究をすすめ、その成果を発表することによって学校全体で共有し、グローバル教育の推進を図る。</p>
7 活動の概要	<p>国際教養大学は、2003 年に設立された公立大学で、全ての授業を英語で行っている。現在文部科学省スーパーグローバル大学創生支援に採択されており、教員の約 54%は外国の方、在学生の 2 割は約 33 の国や地域からの留学生で構成されている。本研修では、英語による異文化理解とともにアジアにおける開発経済学の基礎の授業に参加した。また、生徒各自の研究に基づいて課題意識をもって外国人ファシリテーターとのディスカッション等を行い、その成果を後日、校内でのイマージョン研修報告会や SGH 研究発表会で発表した。</p>
8 内容	<p>事前学習</p> <p>○中川秀幸助教授より紹介していただいた開発経済学の書籍を読んで学習した。 開発経済学の基礎、マクロ経済とミクロ経済、IMF などの公共機関、アジア各国の経済事情などについて、専門的な用語や内容を授業の内容と関連づけて理解を深めるように努めた。</p> <p>○外国人ファシリテーターとのディスカッションは本校が担当するため、生徒は各自の研究に基づいて課題意識をもって企画・進行について繰り返し討議を行った。</p> <p>11 月 11 日(金) 午前</p> <p>○オリエンテーション 講義棟 D 棟講義室にて、企画課 三浦登志枝氏により、国際教養大学の教育理念、カリキュラム、学生サポート、大学施設、学生生活、大学院(グローバルコミュニケーション実践研究科)等についての動画を用いた説明がなされた。</p> <p>○キャンパスツアー 企画課 三浦登志枝氏の案内で、講義棟、レクチャーホール、図書館、カフェテリア、学生寮エントランス、ALAC (Active Learning and Assessment Center 能動的学修・評価センター)、AAC (Academic Achievement Center 学修達成センター)、学生食堂等を見学した。校舎の外壁、内装、図書館の構造全体、学生のロッカー等に豊富に木材が使用され、雪国でありながら暖味のあるキャンパス環境がつけられていた。また、学生の 20%が留学生で、学生寮では 33 か国 168 名の外国人学生が生活しているため、日常的に英語が用いられていた。</p>



11月11日(金) 午後

○講義「アジアの開発経済」

(講師) グローバルビジネス課程 中川秀幸助教授

国際教養大学で行われる英語による授業を受講した。アジアが抱える課題を知り、地球益、公共益を理解しグローバルな視点を持って国際的競争の場で各国の企業人と関わるための必要な資質を理解することをねらいとする講義であり、GLPの研究課題である東南アジア研究に沿った内容であった。アジアの経済状況、開発経済学の基礎、マクロ経済とミクロ経済、IMFなどの公共機関、アジア各国の経済事情などについて実例を挙げて、それぞれを関連付けて説明がなされた。



○外国人ファシリテーターとのディスカッション

本校の生徒による英語の司会進行で行われた。簡単な交流ののち、6人の外国人ファシリテーターが1人ずつ6つの生徒のチームについて、ディスカッションが展開され、時間で区切ってファシリテーターが交代した。生徒たちがGLPで取り組んでいる課題研究を英語で説明し、「東南アジアの課題をビジネスで解決する」というテーマに沿って、活発な質疑応答が行われ、アドバイスを受けた。



9 成果

事前学習として、開発経済学の書籍を読んでいたことから、開発経済学の基礎、マクロ経済とミクロ経済、IMFなどの公共機関、アジア各国の経済事情などについて、専門的な用語や内容も含め、それぞれを関連付けて理解を深めることができていた。また一つのものごとを様々な視点で捉えることを学んだことは、今後のGLPにおける多様な視点、研究へと生かせる。

外国人ファシリテーターとのディスカッションでは、現在生徒たちがチームに分かれて取り組んでいる「東南アジアの課題をビジネスで解決する」というテーマに沿って、各々活発な質疑応答が行われ、適切なアドバイスを受け、多国籍の研究者とのコミュニケーションで、世界の多様な価値観を実感することができた。

生徒たちはこの研修を生かしてグローバル意識を向上させ、GLPの探究をすすめる機会となった。

